

# 県立高等特別支援学校の設置場所について

平成22年6月1日  
特別支援教育課

県立高等特別支援学校の設置に向けた大枠の方針について、パブリックコメント及び電子参画アンケートを行った結果は以下のとおりでした。

これを受けて、県教育委員会では、6月議会閉会後の定例教育委員会において、県立高等特別支援学校の設置場所を旧赤碕高校跡地に決定したいと考えています。

## 1 大枠の方針 <平成22年2月9日教育委員会協議、2月19日常任委員会報告>

県立高等特別支援学校とし、早急に1校設置する方向で検討を行う。

○設置場所：中部圏域（旧赤碕高校跡地）が望ましいと考える。

自宅通学が困難な生徒のために寄宿舎の設置が必要と考える。

○設置規模：1学級（8名）×4～5学級×3学年、計12～15学級が適当と考える。

○開校時期：平成25年度を目標とする。

## 2 パブリックコメント及び電子参画アンケートの結果 <平成22年4～5月実施>

開校時期についてもっと早くとの意見があったほかは、設置場所、設置規模ともに概ね賛成・妥当との意見〔回答者総数:239名（パブリックコメント14、電子参画アンケート225）〕

○設置場所：賛成又は妥当であるという意見が約75%。

寄宿舎の設置についても約77%が賛成。

○設置規模：適当であるとの意見が約49%、分からない等の意見がその次に多い。

○開校時期：妥当とする意見が約38%で最も多いが、早期設置を求める意見も多い。

※保護者説明会時の参加者アンケートの結果においても、回答者の約74%が大枠の方針の内容に賛成 <平成22年4月21日常任委員会報告>

### 【今後の検討事項】

#### (1) 寄宿舎の設置

寄宿舎を設置する方向で検討を進める。今後行う保護者への意向調査の結果を参考に規模等を検討し、決定する。また、民家等への下宿の可能性も検討する。

#### (2) 設置規模

具体的な学級数は、保護者への意向調査の結果を参考にして決定する。

#### (3) 開校時期

施設整備に関する調査（耐震診断、補強計画作成）の結果等を踏まえて決定する。（同調査や耐震・改修工事に時間を要する期間を踏まえ、最短で平成25年度の開校を目標とする。）

### 【経緯及び今後の取組】

#### (1) これまでの経緯

平成20年11月	鳥取県教育審議会「鳥取県における今後の特別支援学校のあり方」(答申)
平成21年5月	「特別支援学校における教育の在り方検討委員会」設置
平成22年2月	設置に向けた大枠の方針を決定(県教育委員会)し、常任委員会に報告
平成22年3月	設置に向けた大枠の方針について、保護者等に対する説明会を開催
平成22年4月	第1回県立高等特別支援学校設置準備委員会を開催
平成22年4～5月	パブリックコメント及び電子参画アンケートを実施

#### (2) 今後の取組

- ・寄宿舎の設置や規模について、対象となる保護者に対して意向調査を実施(6月)
- ・学校長、保護者代表、関係団体等で構成する県立高等特別支援学校設置準備委員会で、設置規模、設置学科、教育課程、施設・設備等の内容について検討(～8月(予定))